

主要諸元			
型式	IC120-2		
仕 様	ダンプ荷台		
積 載 荷 重	11,000kg		
機械質量	14,020kg		
エンジン			
名 称	カミンズ QSL9		
規制	特定特殊自動車 排ガス2014年規制基準		
定格出力	224kW (304.7PS) / 2,200min-1		
最大トルク	1424N·m (145kgf·m)/1,500min-1		
後処理装置	DOC(Diessel Oxidation Catalyst)SCR(Selective Catalytic Reduction)		
主要寸法			
全 長	6,170mm		
全 高	2,910mm		
全幅	2,840mm(バックミラー無し) 3,325mm(バックミラー有り)		
最低地上高	490mm		
クローラ全幅	2,750mm		
クローラ全長	4,620mm		
シュー 幅	750mm		
走行性能			
走 行 速 度	8.0/11.0km/h(低速/高速)		
登 坂 能 力	36%(20°)		
接地圧	33kPa(0.33kgf/cm²)空車時		
19 75 /1	58kPa(0.59kgf/cm²)最大積載時		
油圧ポンプ	可変容量プランジャ(走行2), ギヤ(荷台1)		
セット圧力	走行: 34.3MPa 荷台: 17.7MPa		
吐 出 量	走行:319L/min 荷台:137.3L/min		
走行モータ	可変容量プランジャ		
	タンク		
作動油タンク	148 L		
燃料タンク	363L		
DEFタンク	38L		
バッテリー			
始動電動機	24V-7.8kW		
バッテリー	12V-120AH ×2		
充電発電機	24V-70A		
	098865200		

■ 装備品一覧

標準装備: ○/オプション: ●/設定無し:—

州形俊万開さ	0	
舟形スクープエンド	•	
平床3方開き	_	
平形(フラットベッセル)		
運転室		
シートベルト	0	
エアコン	0	
ウインドウォッシャ	0	
ラジオ	•	
ルームライト	0	
電源ソケット	0	
カーヒータ	_	
操作レバー		

操作レバー		
ジョイスティックレバー	0	
1本レバー(スタンドタイプ)	_	
2本レバー(スタンドタイプ)	_	
荷台:グリップスイッチ	0	
荷台: レバー		
ペダル	0	

システムその他		
警報(ホーン)	0	
走行警報ブザー	0	
後進警報ブザー	0	
前照灯	0	
作業灯(前面 2個)		
床マット	0	
バックライト	_	
オペレータシート	_	
オペレータシート(サスペンション)	0	
バックモニタ	•	
傾斜計	0	
傾斜警報	0	
エンジン緊急停止機能	0	
荷台緊急降下装置	0	
リヤガード	•	

ホームページ kato-works.co.jp

/ KATO WORKS OFFICIAL youtube.com/user/katowork

instagram.com/kato_works_official/



●本機の使用にあたっての注意事項は、取扱説明書をよく読んで正しくお使いください。●本カタログの写真ならびに装備は、改良などによりお届けします製品と異なる場合があります。●仕様は予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。●ボディカラーおよび内装色は、撮影や印刷インクの関係で実際の色とは異なって見えることがあります。●本カタログで使用される「KATO」、当社商品名、サービス名は、株式会社加藤製作所の商標、または登録商標です。

●お問い合わせは…

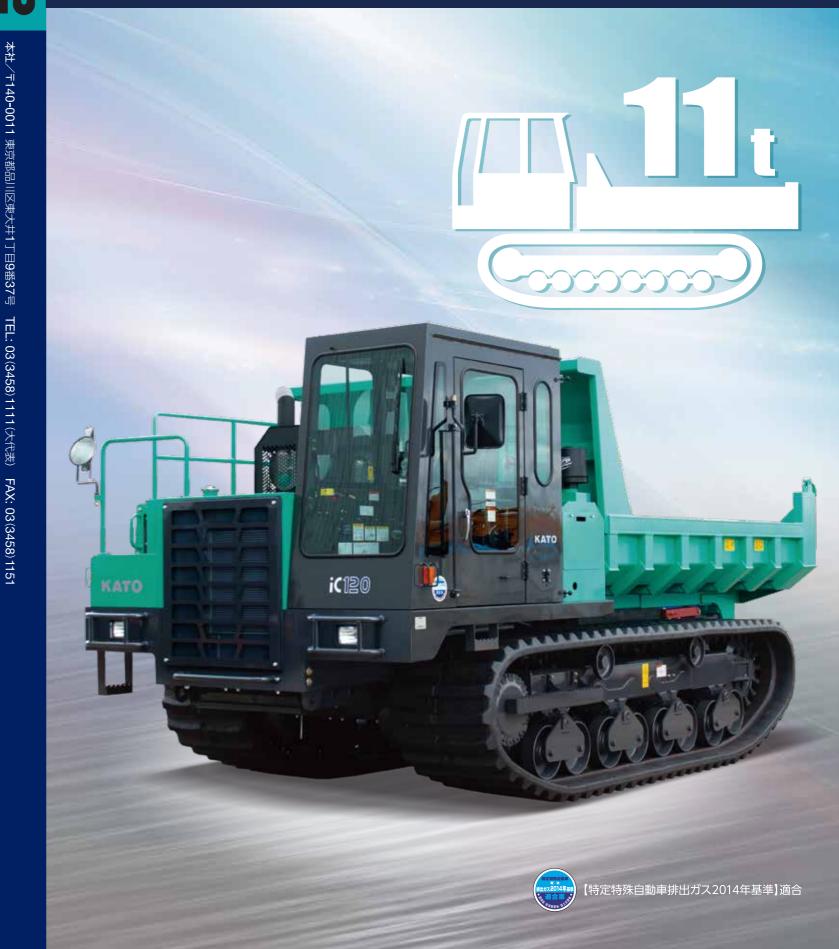
KATO #式加藤製作所

http://www.kato-works.co.jp



(120.2

IC SERIES CRAWLER CARRIER



iC120-2

不整地でも楽々走破!

120-2 運搬の実力と快適さを 雨立したクローラキャ! 両立したクローラキャリア!

- □ 強靭な荷台に最大11,000kg積載可能
- | | 電子制御方式走行操作システムによりオペレータの負荷を軽減
- | | 多彩な運転・操作が可能なジョイスティックレバー
- II ROPSキャブやオーバーラン防止機能によりオペレータの安全を確保

快適操作でパワフルな搬送力! 11,000kg 最大積裁量



新制御方式の採用で、スムーズな運転

操作機器と油圧ポンプの間にCPU(電気制御)を搭載。走行開始、停止がスムーズに。



224kW/2,200min-1





環境に優しいエンジンを搭載

カミンズQSL 9

走行、エンジン始動/停止、ホーンの操作が、

座ったままで、レバーの持ち替えなく走行操作が

左手のジョイスティックに集約。

■最高出力:224kW(304,7PS) / 2,200min⁻¹

DOC (Diesel Oxidation Catalyst) SCR (Selective Catalytic Reduction)



【特定特殊自動車排出ガス2014年基準】適合

操作性、安全性と高効率を両立させた、先進の装備群











▲操作スイッチの集中配置







点検・メンテナンスの効率を求め、整備性重視の工夫を各所に採用



▲尿素水タンク



▲右サイドカバー





▲エンジンカバー開口部







交換作業が容易なスプロケット。 3分割式なので、シューを外すことなく交換できます。





▲左サイドカバー



アイドリング状態となり、



スムーズ運転で、オペレータの負担を軽減。

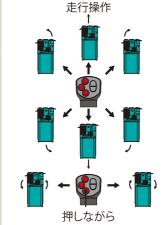
また、負荷条件に応じた滑らかな走行を可能にしました。

簡単に、エコな運転ができる!

ジョイスティック、ペダルが中立のときは、



走行自動変速機能(走行2速時のみ)で曲進する際など、自動的に1速に切り替わることで、より安定した走行ができるようになりました。



▲ジョイスティックレバーでの操作方式



